

**厚生労働省 健康危機緊急時対応体制整備事業
令和8年度保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）
実施要綱**

一般財団法人 日本公衆衛生協会

1 目的

災害時健康危機管理支援チーム(以下、「DHEAT」という)は、自然災害に伴う重大な健康危機発生時に防ぎ得る死と二次健康被害の最小化に対応することを活動理念とし、被災都道府県の保健医療福祉調整本部及び被災都道府県等の保健所の指揮調整機能等を支援するため活動してきたところである。

本研修では、被災した都道府県、保健所設置市及び特別区(以下「都道府県等」という)の健康危機管理組織が担う、発災直後から亜急性期までの保健医療提供体制の再構築及び避難所等における保健予防活動や、生活環境の確保にかかる必要な情報収集、分析評価、連絡調整等のマネジメント業務等の指揮調整機能等を担う人材を養成することとしている。さらに、地方公共団体の連携強化を図り、地域における災害対応力の底上げを図ること、並びに、DHEAT 構成員としての知識を習得し、重大な災害発生時における対応力の向上を図ることを目的とする。

令和8年度より、本研修を発災直後の保健所における初動対応を学ぶ「保健所初動対応編」(0.5日)および被災地保健所におけるDHEAT活動の基礎的事項を学ぶ「DHEAT活動編」(1日)の2部構成で実施する。

(参考)

企画運営リーダー研修	保健所初動対応編	
	DHEAT活動編	
DHEAT基礎編研修	保健所初動対応編	こちらの研修に係る説明です。
	DHEAT活動編	

2 主催

DHEAT事務局：一般財団法人 日本公衆衛生協会（以下「協会」という。）

3 開催日時、方法

保健所災害対応研修 (DHEAT 基礎編)	日時	方法
(1) 保健所初動対応編	第1回: 11月18日(水) 第2回: 12月2日(水) 第3回: 12月15日(火) ※時間はいずれも13:30~17:00	【開催形式】 集合開催(保健所・県庁等に集合) 【実施方法】 動画を再生しながらの研修実施 【研修時間】 4時間程度 【開催日】 左記3日程のいずれかあるいは各自治体の独自日程 ※保健所初動対応編は DHEAT 活動編と連日で実施する必要はありませんが、別日程で実施する場合は、DHEAT 活動編より前に実施してください。 ※保健所初動対応編の左記3日程では、研修事務局と各都道府県の会場をオンライン(Zoom)でつなぎ、事務局がオンラインで運営を一部サポートします。
(2) DHEAT 活動編	第1回: 11月19日(木) 第2回: 12月3日(木) 第3回: 12月16日(水) ※時間はいずれも9:30~17:00	【開催形式】 集合開催(保健所・県庁等に集合) 【実施方法】 都道府県会場と研修事務局をオンライン(Zoom)でつないで進行 【研修時間】 1日 【開催日】 左記3日程のいずれか

4 受講対象者

【保健所初動対応編】

- ・保健所にて災害対応にあたる者
- ・保健医療福祉調整地域本部等の運営に携わる者
- ・下記の DHEAT 活動編の参加を予定している者

【DHEAT 活動編】

- ・各都道府県等において DHEAT の構成員として登録を予定される医師(保健所長等)、保健師、薬剤師、獣医師、管理栄養士、精神保健福祉士、事務職員 等
 - ・保健医療福祉調整地域本部等を運営する者
(保健所長、次長、課長、災害担当等が適している。)
- ※DHEAT 活動編の参加者は、上記の保健所初動対応編の受講者あるいは同等の知識・経験(被災地支援経験等)を有する事を前提とします。

※保健所初動対応編および DHEAT 活動編の両方を受講した方に、修了証を発行します。

5 受講定員

各都道府県の定員(保健所設置市含む)は定めませんが、下記を参考に受講者を選定の上お申込み下さい。

【保健所初動対応編】

- ・受講者10名に対しファシリテーター(企画運営リーダー研修受講者等)2名を推奨しております

す。

【DHEAT 活動編】

- ・ 5名程度のチーム単位での演習を想定。
- ・ 1チームに対しファシリテーター(企画運営リーダー研修受講者等) 1名を推奨しております。
※1チーム5名程度の職種構成は不問です。
※研修の質を担保するために、昨年度までのファシリテーター経験者や本研修受講者等に協力をお願いする等して、ファシリテーターの人数を確保してください。

6 研修目標

【保健所初動対応編】

1. 一般目標

- (1) 発災直後から被災地保健所として担うべき役割および実施すべき行動を理解し、平時から備えることができる。

2. 個別行動目標

- (1) 発災直後の保健所の役割を理解し、対応することができる。
 - ① 所内の災害対応組織体制を確立することができる。
 - ② 初動時に必要な情報の収集、整理、共有、および分析をすることができる。
 - ③ 保健所の活動方針を決定することができる。
- (2) 被災地域における保健所の役割を理解し、災害時の地域保健医療福祉提供体制を整えることができる。
 - ① 災害時の管内の市町村および関連組織等との連携体制を想定することができる。
 - ② 災害時に地域保健医療福祉分野において生じる課題を理解することができる。

【DHEAT 活動編】

1. 一般目標

- (1) 被災地保健所を支援する DHEAT として担うべき役割および実施すべき行動について理解し、平時から備えることができる。
- (2) 被災地保健所として担うべき役割および実施すべき行動について理解し、平時から備えることができる。
- (3) 今後、各地域保健所等において企画運営リーダー研修受講者と共に、災害対応研修の企画運営をすることができる。

2. 個別行動目標

- (1) 被災地保健所および保健所を支援する DHEAT の役割を理解し、対応することができる。
 - ① 災害及び対応状況から被災地保健所が果たすべき役割を理解することができる。
 - ② 被災地保健所が意思決定を行うための情報の収集、整理、共有、および分析をすることができる。
 - ③ 被災地保健所が地域における保健医療福祉分野の災害対策の中心であることを踏まえ、保健所支援 DHEAT としての災害対応(支援)方針を示すことができる。
- (2) 被災地域における保健所および保健所を支援する DHEAT の役割を理解し、災害時の地域保健医療福祉提供体制を整えることができる。
 - ① 保健医療福祉調整地域本部を運営(会議体の設置や運営等)することができる。
 - ② 災害時の地域保健医療福祉における課題を整理し分析することができる。

- ③ 被災地域で支援活動をする保健医療福祉活動チームおよび災害中間支援組織等の特徴を理解し、連携することができる。
- ④ 被災地域における保健医療福祉提供体制に必要な人的・物的資源の要請および配分調整をすることができる。
- ⑤ 保健医療福祉調整地域本部としての災害対応方針を示すことができる。

(3) 被災地における DHEAT の役割を理解し、支援活動を実施することができる。

- ① DHEAT として活動できるよう心得を知り、平時から準備することができる。
- ② 派遣要請から出発までの準備事項を理解し、派遣対応することができる。

7 事前学習について

- ・ 研修当日までに、事前学習(e-learning 等約3時間)が必要となります。
- ・ 事前学習カリキュラムについては、研修受講決定後日本公衆衛生協会研修システム(以下「研修システム」という。)から案内します。P6 参照。

8 当日のカリキュラム(予定)

【保健所初動対応編】

開始時刻	終了時刻	プログラム	方法	具体的内容	講師(予定)	
13:30	13:40	イントロダクション				
13:40	16:40	演習：災害時の公衆衛生対策(初動対応)	講義 演習	発災当日の保健所の活動について、ロールプレイ形式で対応演習を行う。保健所初動、情報収集、保健医療福祉調整地域本部の立ち上げ等。	全国保健所長会	
16:40	17:00	研修全体の質疑応答		研修全体を通しての総括を行う。	全国保健所長会	

【DHEAT 活動編】

開始時刻	終了時刻	プログラム	方法	具体的内容	講師(予定)	
9:30	9:40	イントロダクション				
9:40	10:00	講義1：DHEAT 活動について	講義	DHEAT 活動要領および活動ハンドブックをもとに DHEAT 活動に関する理解を深める。	全国保健所長会	
10:00	12:00	演習1：被災地のアセスメント 演習2：DHEAT 活動の導入	演習	避難所情報分析ツールの利用法を知り、DHEAT としての支援活動を考える。	全国保健所長会	
12:00	13:00	昼食・休憩(60分)				
13:00	16:40	演習3：マネジメント支援(医療) 演習4：マネジメント支援(保健) 演習5：マネジメント支援(福祉) 演習6：地域保健医療福祉調整地域本部会議	演習	外部からの保健師、各種支援チーム及び物的資源の配分調整を行う。災害時の諸問題に対する関係機関との連携について考える。関係者による会議を開催し、情報共有や対応について検討する。	全国保健所長会	
16:40	17:00	研修全体の質疑応答		研修全体を通しての総括を行うとともに、DHEAT に関する受講者の共通認識を醸成する。	全国保健所長会	

(備考)

- ・上記研修内容やスケジュールは、変更となる可能性があります。
- ・各都道府県会場における演習の進行は、企画運営リーダー研修受講者がファシリテーターとして時間管理も含めて行ってください。

【研修企画、並びに実施協力】

地域保健総合推進事業 全国保健所長会協力事業

「災害時健康危機管理活動の支援・受援体制整備と実践者養成事業」

分担事業者：鈴木陽（宮城県塩釜保健所長）

事業協力者、助言者の先生方（氏名は研修当日の名簿に記載予定）

9 申込みから研修参加までの流れ

1. 申込：都道府県がとりまとめ、別紙2 受講者登録票を提出

(申込先) 一般財団法人 日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部

kenshu@jpha.or.jp もしくは kenshu@jphakenkoukiki.mhlw.go.jp

(締切) **8月21日(金)**

2. 受講受付：当協会から都道府県に受講申込受付の連絡

研修システム(HCM-JPHA:noreply@hcm-jpha.jp)から受講者本人へメールにて
システム登録のご連絡(参加する研修開催予定日約2週間前から)

3. 受講者本人が研修システム(<https://hcm-jpha.jp/>)にログインし、事前学習サイトで、
e-learning を受講

4. 保健所災害対応研修(DHEAT 基礎編)に、各都道府県会場で参加する。
当日のZoomアドレスは、各都道府県担当者へご案内いたします。

10 その他

- (1) 研修に係る受講料は無料です。
- (2) 受講承認された者の代理出席は不可とします。
- (3) 研修システムへのアクセスや外部とのやりとりが可能な端末を準備すると共に、以下のドメインが閲覧可能になるよう準備をお願いします。
hcm-jpha.jp、*.hcm-jpha.jp（サブドメインも利用予定のため2つとなります。）
- (4) 保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）に参加する受講者の旅費については、厚生労働省健康・生活衛生局地域保健室が所管する、地域健康危機管理体制推進事業の補助対象となります。
なお、令和8年度企画運営リーダー研修受講者が、ファシリテーターとして本研修のDHEAT 活動編に参加する際の旅費については、当協会の健康危機緊急時対応体制整備事業費から支出いたします。詳細は、企画運営リーダー研修実施要綱に記載しております。
- (5) 研修受講修了者に対する修了証の発行を行うとともに、研修システムにおいて修了者名簿の管理を行います。
- (6) その他、本研修の実施に関し必要な事項は当協会の定めにより実施します。

【お問い合わせ先】

一般財団法人 日本公衆衛生協会

DHEAT 研修担当：中臺・松川・由解・河西

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号

TEL：03-3352-4283 FAX：03-3352-4282

Mail：kenshu@jphakenkoukiki.mhlw.go.jp
kenshu@jpha.or.jp